

適正な足場、安全な作業床で作業しましょう！
高所作業では安全な保護帽を着用しましょう！



厚生労働省 佐渡労働基準監督署

管内の建築工事業での労働災害の事例です。
災害防止のため、適正な足場の使用、安全な作業床の確保、保護帽を着用して作業を行いましょう！

災害事例

災害事例は管内（令和元年）発生のものです

発生状況	【 墜落災害 】 住宅増築工事中に屋根上で瓦葺き作業を後ろ向きで行っていたところ、開口部から地面に墜落し、臀部と腰部を強打した。
原因対策	<ul style="list-style-type: none"> ・安全な足場を設置した上で作業を行う。足場の設置が困難なときは、親綱を設置し、墜落制止用器具を必ず使用する。 ・保護帽を必ず着用し、あごひもを締める。
発生状況	【 墜落災害 】 住宅屋根改装工事において、足場設置準備作業中、屋根板金を剥がしていたところ、バランスを崩し高さ2.2mの高さの屋根から道路上に墜落し、胸椎等を骨折した。
原因対策	<ul style="list-style-type: none"> ・安全な足場を設置した上で作業を行う。足場を設置する前に屋根等の一定の高さがある場所で作業をする場合、親綱を設置し、墜落制止用器具を必ず使用する。 ・保護帽を必ず着用し、あごひもを締める。
発生状況	【 脚立からの墜落災害 】 住宅改築工事において、高さ1.8mの脚立上でビス打ち作業を行っていたところ、もう一方の脚立に移ろうとしてバランスを崩し、墜落し腰部を強打した。
原因対策	<ul style="list-style-type: none"> ・脚立を用いた作業を選択する前に、より安全な代替策（移動式足場、可搬式作業台、手すり付き脚立など）を検討する。 ・脚立を使用する際、安全な場所で使用方法に十分注意する。 ・保護帽を必ず着用し、あごひもを締める。

詳しくは、佐渡労働基準監督署（電話0259-23-4500）までお問い合わせ下さい。

発生状況	【 墜落災害 】 住宅改修工事現場において、配管作業を行っていたところ、根太上でバランスを崩し、両足を開いて根太を跨ぐ体勢になり、股間を根太に強打した。
原因対策	<ul style="list-style-type: none"> 作業に適した用具（脚立、移動式足場など）を選定する。 暗がりでの作業の場合、明かりを追加して十分な照度を確保する。
発生状況	【 脚立からの墜落災害 】 建設工事現場において、2階にて型枠作業を行っていたところ、突風で脚立3段目から後方に墜落し、腰部を強打した。
原因対策	<ul style="list-style-type: none"> 作業に適した用具（移動式足場、可搬式作業台など）を選定する。 作業が困難な天候（大雨、強風など）時には、作業を一旦中止する。



安全帯が「墜落制止用器具」に変わります！

墜落制止用器具は「フルハーネス型」が原則となります！

種類	用途
ハーネス型 (1本つり)	原則 を使用（下記 以外の場合）
胴ベルト型 (1本つり)	では墜落時に地面に到達するおそれがあるとき

- 対象業務は「安全衛生特別教育」が必要です。
- 経過措置（猶予措置）をよく確認しましょう。旧規格の安全帯（胴ベルト型、フルハーネス型）は2022年1月1日まで使用可能ですが、同年1月2日以降は上記のとおり改正法令に基づく墜落制止用器具の使用が必要です。詳細はガイドラインを参考にしてください。

STOP！熱中症

令和2年5月～9月

クールワークキャンペーン

厚生労働省では、各種団体と連携して「STOP！熱中症クールワークキャンペーン」を展開し、職場での熱中症予防のための重点的な取組を進めています。熱中症予防に取り組みましょう！

発生状況	【 熱中症 】 住宅新築現場において、作業中に両手が痙攣したため、一旦休憩したが、痙攣が治まらずに病院で受診したところ、熱中症の診断を受けた。（発生時間：午後3時頃）
原因対策	<ul style="list-style-type: none"> 暑さ指数（WBGT値）の把握のため、暑さ指数計を準備して、状況に応じて作業を行う。 冷涼な場所を確保し、こまめな休憩・水分補給を行う。 熱中症防止対策について、教育を行う。